

# 早稲田大学 教育学部 古典 講評

## 〔総合分析〕

<b>出題形式</b>	マーク・記述併用
<b>試験時間</b>	90分（現代文2問、古漢1問）
<b>特徴・その他</b>	<p>木下長嘯子(1569－1649、江戸初期の歌人)の紀行文『九州の道の記』および白居易(772－846、中唐の詩人)の漢詩(五言律詩)からの出題。古漢融合問題。</p> <p>古文・漢文両分野とも、正確な基礎知識に基づく深い読解が要求されているので、基本古語・古典文法あるいは漢文の基本句形・重要助辞をマスターした上で(または、しつつ)、問題演習をある程度重ねていくことが必要である。</p>

## 〔大問別講評〕

大問番号	設問番号	コメント	難易度
(三)	問二十一	助動詞の識別	やや易
	問二十二	現代語訳	標準
	問二十三	心情解釈	標準
	問二十四	心情解釈	標準
	問二十五	引用意図解釈	やや難
	問二十六	(I)指示語の指示内容	標準
		(II)知識問題	やや易
	問二十七	和歌解釈・空欄補充	標準
	問二十八	趣旨判断	標準
	問二十九	(I)漢詩解釈	やや易
(II)漢文常識		標準	
(III)鑑賞		標準	
(IV)漢文常識		易	